

■ヒアリング結果

団体代表ヒアリングと団体メンバーヒアリングを全て統合した結果を分析しました。

5月7日 団体代表ヒアリング
～6月30日 (102団体)



7月1日 団体メンバーヒアリング
～8月17日 (1052人)



上記の二つのヒアリング結果を統合して全102団体1,052人分の回答について分析した結果を以下に示します。

■テキストマイニングを用いたヒアリング回答の分析

現時点での回答内容(キーマンヒアリング)に対してテキストマイニング分析を使用し、自由意見の定量的な分析を行いました。

※テキストマイニングとは単語のつながりや分布のパターンを定量化し、統計学的手法を用いて自由意見の集合に隠れた意味や本音を読み取りやすくする手法です。SNSから流行を探る調査等にも使用されます。単語同士の繋がりの強さと単純な出現の量から意見の強さや発言の背景等について分析を行います。

出現した単語群を見ると特徴的なまとまりとして「川や森、さらにその資産である木製品といった水系のつながりを想起させるような組合せ」と「スタジアム等との施設連携を想起させる組合せ」が見られます。

これは、個々の意見において、木製遊具等での市産材の活用、木によるふれあい・憩いの提供が、また、サッカーやジョギング等のスポーツ利用への期待が、意見として多く見られたことも要因にあると考えられます。

順番	出現量	結束度	ピース1	ピース2	ピース3	ピース4	ピース5	ピース6
J01	48	1.59	子供	遊べる	遊具			
J02	44	1.22	緑	花	多い	公園		
J03	35	1.3	カフェ	必要	周辺	駐車場	スタジアム	
J04	35	1.25	公園	自然	連携	緑		
J05	30	1.62	スカイホール	スポーツ	スタジアム	連携	グラウンド	体
J06	30	1.51	中央公園	矢作川	周辺	整備	近く	水
J07	30	1.27	木陰	ベンチ	休憩	多い	緑	木製品

※単語の意味

出現量とは、それぞれのグループの中の単語のうちいずれかを組み合わせて文中に出現した回数となります。(例J01)体験できる、～ができる施設等

結束度とは、グループ内の単語同士の結びつきの強さを表しています。あるグループ固有の単語が多い程結束度が高く、逆に別のグループでも出現する単語が多い程結束度が低いという結果になり、結束度の大きいグループはより強い意見であり、限定的な意味を持ちやすいグループとなります。

順番	出現量	結束度	ピース1	ピース2	ピース3	ピース4	ピース5	ピース6
J08	28	1.26	高齢者	施設	休憩	ウォーキング	体	利用
J09	27	1.39	できる	体験	いろいろ			
J10	26	1.62	ランニング	ウォーキング	コース	自転車	休憩	
J11	26	1.41	子供	楽しめる	大人			
J12	24	1.2	場所	水	市民	大会	楽しく	
J13	22	1.55	鞍ヶ池公園	屋根	雨			
J14	21	1.33	長い滑り台	近く	いろいろ	ない	公園	
J15	20	1.56	予約	利用	できない	市民	自由	
J16	20	1.31	自転車	橋	ない	多い	車	できない
J17	19	1.29	自由	広場	芝生	イベント		
J18	16	1.42	アクセス	バス	駅	車		
J19	15	1.45	集まる	人				
J20	14	1.46	サッカー	大会	グラウンド	芝生		
J21	14	1.43	開催	イベント	マルシェ			
J22	13	1.26	アスレチック	大型	大人	体	楽しく	
J23	13	1.21	整備	管理	楽しく	遊具	野外	
J24	12	1.4	フェス	ステージ	野外			
J25	12	1.28	気軽	行く	駐車場	駅		
J26	8	1.34	噴水	水遊び				
J27	8	1.22	多い	テニス	スポーツ			
J28	6	1.18	楽しく	時間	スタジアム			
J29	5	1.31	綺麗	トイレ				
J30	5	1.25	何	できない	緑	鞍ヶ池公園		
J31	5	1.21	中央公園	良い	車			
J32	5	1.19	連携	エリア	いろいろ			
J33	4	1.21	キャンプ場	バーベキュー				
J34	3	1.26	屋内	ボルダリング				
J35	3	1.21	プール	屋内				
J36	2	1.25	近く	学校				
J37	2	1.25	山	地域				
J38	2	1.23	連れ	ドッグラン				
J39	2	1.21	活用	木製品				
J40	2	1.2	行う	水				

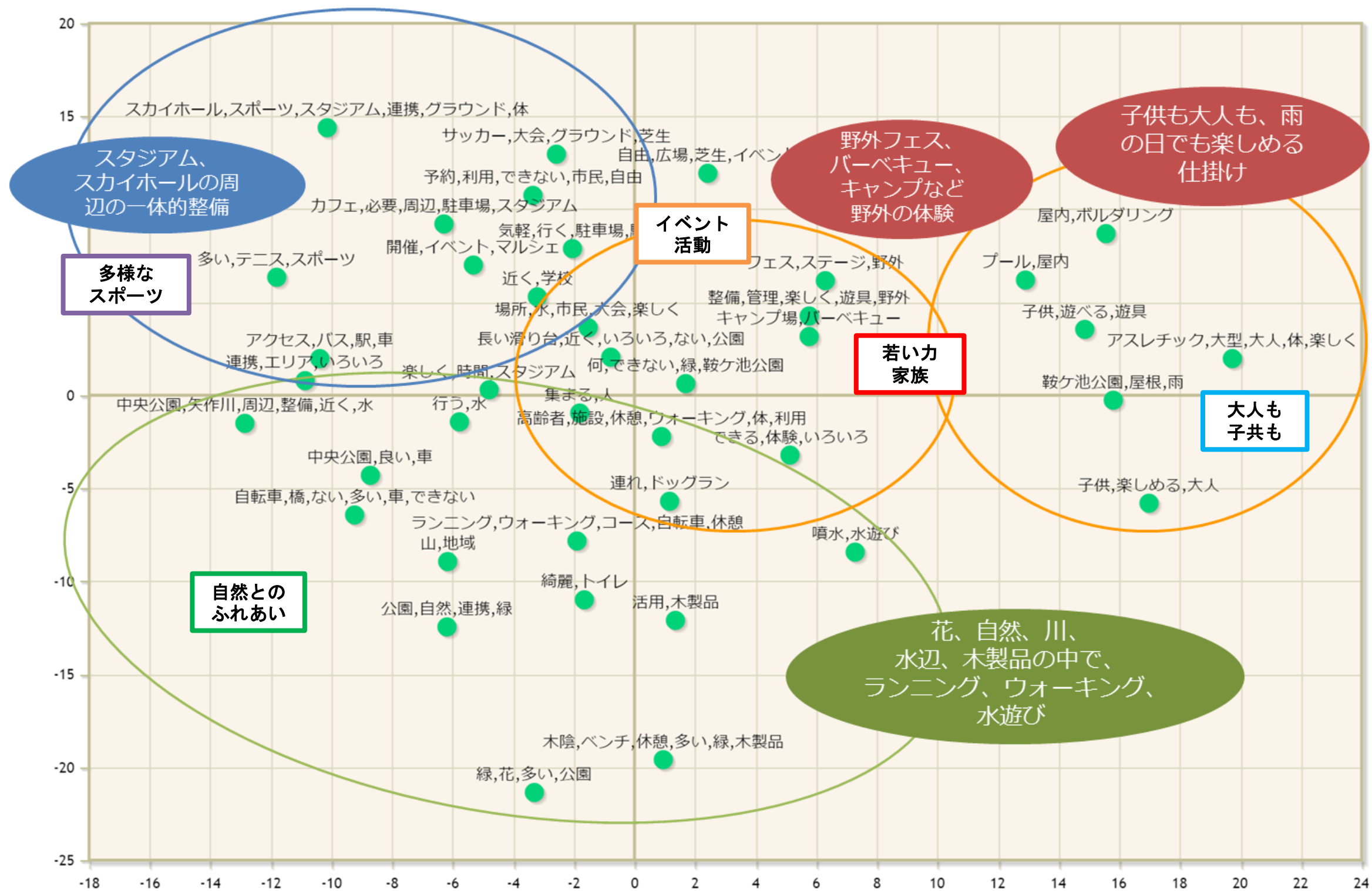
スタジアム

森・川

■中央公園の空間づかい-市民志向の把握・テキストマイニング分析

前頁で紹介した単語のグループについて、多次元分析による集計を行いました。下表は各グループ同士の相対的な距離をプロットした多次元データを二次元的に再解釈した表です。

ここでの各グループ同士の距離とは発言の背景(意図や要因)のつながりの距離の事です。近いグループ程似た背景から出た意見であり、遠いグループは対立した(関係の薄い)意見と解釈する事ができます。



発言の背景が似ているまとめとして、スポーツ、ランニング・サイクリングといった運動、大人と子供が楽しめる遊び、休憩・体験・飲食、雨対策、音楽、自然、イベント等が確認できます。

また、個々の意見においては、市産材の活用による木によるふれあい・憩いの場としての提供や、サッカーやジョギング等のスポーツ利用への期待が多く見られます。

また、子供だけでなく大人も楽しめるような多世代への目線が確認でき、森や川、木を主体とした自然との触れ合いといった意見と、スポーツを主体としたスタジアムとの連携に係わる意見のまとめも確認できます。

イベント活動のような運営に対する要望も見られました。